

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
宇品海岸1丁目マンション

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		1.8	0.15	2.8	1.00			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
1.2 遮音		1.0	0.40	3.5	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能				4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.5	0.35	3.0	1.00			2.9
2.1 室温制御		2.2	0.63	3.0	1.00			
1 室温設定		3.0	0.63	-	-			
3 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.38	-	-			
3 光・視環境		2.3	0.25	4.0	1.00			3.7
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率		1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
2 昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	住戸内建築材料はほぼ前面的にF☆☆☆☆を使用する。	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		2.2	0.40	3.8	1.00			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.60	4.0	0.60			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応				4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	3.5	0.40			
1 広さ感・景観				4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画	共用部は材料、照明等で空間演出を行う。	4.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.3 信頼性			3.2	0.19		-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	-
3	電気設備		3.0	0.20		-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	-
5	通信・情報設備	通信手段の多様化を図る。又、精密機器の地下空間への設置を避ける。	4.0	0.20		-	-
3 対応性・更新性			2.8	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1	階高のゆとり				4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯器を採用	4.9	0.40		-	4.9
4 効率的運用						-	-
4.1 モニタリング						-	-
4.2 運用管理体制						-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水		節水コマと節水型便器の使用。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00		-	
1.2.2 雑排水再利システム導入の有無						-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63		-	2.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		配管・配線を躯体及び仕上げ自体に打ち込まない。	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料を選定し、使用をする。	3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
3.2.1 消火剤		ハロン消火剤の使用は一切無し(消火器・移動式粉末消火器)	4.0	0.33		-	
3.2.2 断熱材			2.0	0.33		-	
3.2.3 冷媒			3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2を極力排出しないように努める。	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用が無い為、大気汚染物質を全く発生しない(オール電化)	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25		-	
2.3.1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
2.3.3 交通負荷抑制			3.0	0.33		-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
3.1.1 騒音			3.0	1.00		-	
3.1.2 振動			-	-		-	
3.1.3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
3.2.1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
3.2.2 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行わない。	5.0	0.70		-	
3.3.2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	